

12/10 木

## 医療保険

# 75歳負担増5400円弱に

### 24年度試算 年収153万円超対象

厚生労働省は9日、社会  
保障審議会（厚労相の諮問  
機関）の部会を開き、検討  
を進める医療保険改革の影  
響試算を示した。75歳以上  
の後期高齢者医療制度で、  
2024年度に加入者1人  
当たり平均の保険料負担が  
増やす。厚労省は審議会で近

年5400円弱増える。出  
産した人への原則42万円の  
「出産育児一時金」増額に  
伴う拠出や、現役世代の負  
担増を抑える制度見直しが  
要因だ。

所得に応じ負担を配分す  
るため、実際に保険料が増  
やす。厚労省は審議会で近

く改革の結論を出し、来年の  
通常国会に閣連法改正案  
を提出する方針だ。

政府は出産一時金を50万  
円程度に引き上げる方向で  
調整中。現在は主に現役世  
代の保険料で賄われるが、  
24年度からは後期高齢者医  
療制度からも一時金全体の  
7%程度を拠出する。

試算によると、出産一時  
金を47万円に上げた場合、  
75歳以上の保険料は平均年  
度保険料は年8万680  
円の見込みだが、制度見  
直しで3900円増の年9  
万700円に上がる。年収  
80万円の場合、年間保険料  
は1万5100円で、現行  
制度と変わらない見通し  
だ。保険料には高所得者向

けの年間上限額があり、現  
在の66万円を80万円へ大幅  
に引き上げる。年収104  
万円以上の人人が対象とな  
る。

割合を減らし、約1割とな  
っている75歳以上の保険料  
負担を増やす。この見直し  
でも1人当たり保険料が平  
均で年4千円増える。75歳  
以上全体会員の負担増は年1千  
億円超となる。

現行制度のままの場合、  
年収200万円の人の24年  
度保険料は年8万680  
円の見込みだが、制度見  
直しで3900円増の年9  
万700円に上がる。年収  
80万円の場合、年間保険料  
は1万5100円で、現行  
制度と変わらない見通し  
だ。保険料には高所得者向

### 75歳以上医療保険料の 増加見通し

出産育児 一時金	47万円に増 1300円
増額への負担 (現行42万円)	50万円に増 1390円
現役世代の 負担増抑制分	4000円
合計 平均	5300~5390円

### 所得に応じ負担配分 (一時金47万円の場合)

年収80万円	±0円
年収200万円	3900円
年収400万円	1万4200円
年収1048万円以上	13万円